

2010年11月30日

教科書（数独）寄贈への御礼状

Millennium Promise Japan 御中

FROM :
青年海外協力隊
ザンジバル（タンザニア）
PCインストラクター

この度は、下名の活動拠点である当該配属先に、首記の寄贈品を賜りましたことを心より厚く御礼申し上げます。頂戴致しました寄贈品につきましては、配属先の最高責任者（学校長）および担当者（数学教員）に詳細内容申し伝えまして、下記の通り寄贈を実施致しました。

記

配属先：ミクンゲーニ技術中等学校
役職：コンピュータ部門 実践科目担当講師
配属期間：2009年 - 2010年
所在地：ウングジャ島（ザンジバル）タンザニア共和国
寄贈時の写真：以下添付



(ミクングーニ技術中等学校礼状の和訳)

交信番号：SSUM/JOCV/VOL.II/57/31

2010年12月13日

ミレニアムプロミスジャパン御中
日本

件名：ご寄付のお礼

■■■■氏は、青年海外協力隊の隊員として、当校に2年間にわたってPCインストラクターとして勤務してくれています。ミクングーニ技術中等学校での勤務の間、多くの寄付の手続きを通じて当校に貢献してくれました。このたび、数独の書籍16冊をミレニアムプロミスジャパン様から、「世界の笑顔のために」プログラムを通じて受領いたしました。これら書籍は、学生の頭を悩ませるために効果的です。

ミレニアムプロミスジャパン様に、これら書籍のご寄付につきましてお礼を申し上げますとともに、■■■■隊員にもこれらの手続きを取ってくれたことに感謝したいと思います。

今後とも何卒よろしくお願いいたします。

スレイマン K アリ

校長

ミクングーニ技術中等学校

**MINISTRY OF EDUCATION AND VOCATIONAL TRAINING.
WIZARA YA ELIMU NA MAFUNZO YA AMALI.**

SKULI YA SEK. YA UFUNDI
MIKUNGUNI
S. L. P. 671
SIMU/FAX 255 24 2232481



MIKUNGUNI TECH. SEC. SCHOOL
P. O. BOX 671
TEL./FAX: 255 24 2232481
E-MAIL: mtss@zitec.org

Our Ref:
Kumb. Yetu: **SSUM/JOCV/VOL.II/57/31**

Date:
Tarehe: **13/12/2010**

**Millenium Promise Japan
JAPAN**

RE: APPRECIATION FOR DONATION

Please refer to the above mentioned title.

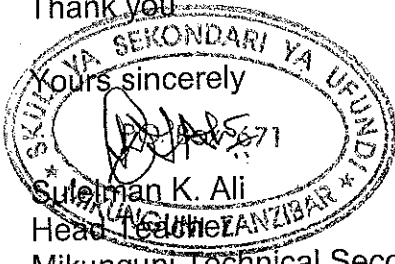
██████████ a JOCV, has been working with the school as a PC instructor for the past two years. During his service at Mikunguni Technical Secondary School (MTSS), he has organized for many donations for supporting the school. Recently, we have received sixteen Mathematics Puzzle books donated by Millenium Promise Japan, through Sekai No Egao Project. The books have worked well as brain teasers to our students.

Sincerely, we would like to thank the Millenium Promise Japan for donating these books and the participation of ██████████ in this matter, is well appreciated.

Looking forward for further cooperation

Thank you

Yours sincerely



Suleman K. Ali

Head Teacher

Mikunguni Technical Secondary School
Zanzibar

追記と補足説明事項：

数学は、当地では最も難易度が高く、人々の苦手意識が強い科目とされています。

一方で、コンピュータサイエンスの各課目を深く理解するためには、数学は最も重要な基礎科目であり、電子機器のアーキテクチャを理解し、プログラミング演習やソフトウェア開発、算術的な解析をおこなうために、数学的なセンスは必要不可欠なものであることを、教師をはじめ学校関係者は共通認識をもって理解しております。

上記のような経緯もあり、数学講師とは元来連携が強く、この度の寄贈申請とプロジェクト（数学授業への数独の適応）の発起に到りました。

当校は職業訓練校として、技術者を育成するために設立された政府系の技術中等学校であります。生徒はスタンダード1から7（日本での小学校に該当）において、理数科科目で優秀な成績を集めた生徒が入学する島でも有数の人気中等校です。（土木、機械、電子工学、コンピュータ等の技術実技科目が演習できることが特徴で、1学年約50名と少人数制となっております。（フォーム1から4までで全学年をあわせて約200名の学生が登校で4年間学びます。）

学業の全体成績は、地区（ウングジャ島）で現在4位。それでも、数学課目の偏差は非常に大きく、約3分1の生徒が国家試験で落第しております。ただし、数学の全体成績は、高得点者が成績平均を牽引し、地区では昨年1位の成績結果でした。

今後、数独のトレーニングを定期的および継続的に実施することで、数学への興味と適応度をますます高め、島のエンジニアリングサイエンスを牽引するリーダーを育成していくことを今回の寄贈のターゲットとして「世界の笑顔」プログラムを申請致しました。

末尾となりましたが、今後も当地の教育水準の発展と、将来を築く有望な人材を育成するために、この度頂戴致しました寄贈品を、関係者とともに大切に保管し、有効活用いたしますことを、ここにお約束申し上げます。関係者の皆様のご高配にこの場をお借り致しまして重ねて厚く御礼申し上げます。

誠に有難うございました。

以上。